

104-314

問題文

この患者は、「薬を飲まないでいこうと思っている。」という発言からも、行動変容ステージの無関心期(前熟考期)にいると考えられる。この患者を関心期(熟考期)へと促していく働きかけとして適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 患者の反応にかかわらず一方的に服薬指導や生活指導を行う。
2. 健康行動の必要性や有効性について情報を提供する。
3. 患者に健康行動実施の宣言をしてもらう。
4. 患者の服薬に対する考えや感情(解釈モデル)を聞く。
5. 主治医に連絡し、患者を説得してもらう。

解答

問314：4問315：2, 4

解説

問314

さらっと設定されていますが、自分の仕事の存在価値や意義、アプローチの手法、程度等を問われるシチュエーションと感じます。設問とは別個に、このような方に対して、どう、どのような理由で接するかをきちんと言語化しておくのは非常に大切であるような気がします。

選択肢 1 ですが

白衣高血圧などもあるため、家庭血圧が優先されます。

選択肢 2 ですが

禁煙指導は行うべきです。

選択肢 3 ですが

BMI 高値である点から、降圧と並行して生活習慣改善が望まれると考えられます。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

減塩目標は、1 日 6g 未満が、本試験時点における推奨です。

以上より、問314 の正解は 4 です。

問315

選択肢 1 ですが

一方的に指導をするのではなく、どのようなことならできそうかを自分から考えてもらうというアプローチが一般的に適切です。（いや、とはいえ、ヒトによってはおどろくほど「初めはやらせて効果を自覚させる」が、最初のステップとして効果あるヒトもありまして、まあ本当に、正解のない分野だなあとと思います。）

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

準備期に適切とされている働きかけです。無関心期に宣言をさせられても「なんか言われたけど、まあいいや」という感じになると思われます。

選択肢 4 は妥当な記述です。

「薬を飲まないでいこうと思っている」という発現が、どのような考えから生じているのか、という点について聞きだすことは有用です。人に話しているうちに、自分の考え方の偏りに勝手に気づき、それが行動変容につながることもあります。また、あなたの考え方は理解した上で提案している、という関係の方が、こちらの意図も伝わりやすくなると考えられます。

選択肢 5 ですが

無理やりの説得は、一般的には適切とはいえません。

以上より、問315 の正解は 2,4 です。